

機械や材料の進化により、印刷技術だけでは他社と差別化しにくい時代になりました。だからこそ、我が社は、お客さまから「企業の質」を見ていただける会社を目指しています。そこで大切にしているのが、お客さまと一緒にこだわりながら製品を作っていくこと。お客さまが、どのような思いでコミュニケーションツールを創ろうとされているのか。何を期待して、我が社に発注して下さるのか。そうしたことにも考えを巡らせ、全社一丸となってお客さまの課題に取り組んでいます。「商品が売れる」「人が集まる」「効果が高い」そんなコミュニケーションの方法を、お客さまとともにこだわりぬき、考えぬくことで、ご提案いたします。



代表取締役社長 大塚 泰文

原点は、『いい仕事』へのこだわり。

印刷はすべてがオーダーメイドです。100種類の仕事があれば、そこへ要求されるものも100通り存在します。しかも、ひとつの印刷物が生み出される工程を追えば、そこには数多くのプロセスがあり、さまざまな活動の場が発生します。

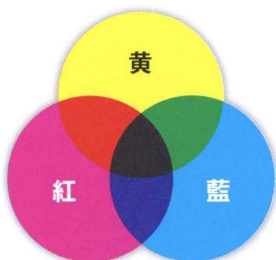
より良いものを作るためには、すべての工程で、あらゆる要求に応え得るフレキシブルな技術と感性が求められます。

印刷の仕事は追求すればするほど、奥が深い。だからこそ、「良いもの」を作ることにとことんまでこだわられる、これこそがこの仕事の魅力だと思います。

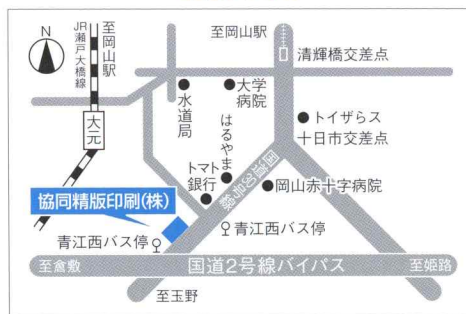
カラー印刷のメカニズム

透明な黄・紅・藍のインクを使い、それぞれの濃淡を組み合わせることでさまざまな色調を再現するのがカラー印刷の原理です。

実際にはこれに黒のインクをプラスし、より自然な発色に近づけます。このため製版では4種類の版を別々に用意することが必要。各版を重ね刷りすることで一枚の紙の上にフルカラーを作り出しています。

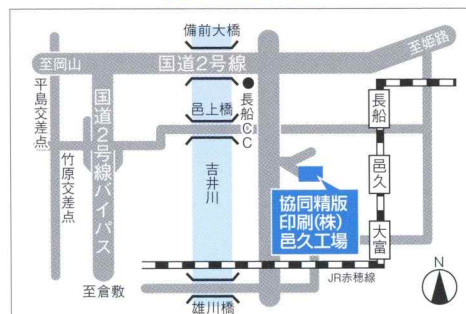


本社アクセス



岡山駅または、天満屋バスセンターより、岡電バス当新田大東行きまたは、興陽高校行きにて青江西下車すぐ。

邑久工場アクセス



赤穂線邑久駅下車、車で約10分。

KYODO 協同精版印刷株式会社

協同精版印刷株式会社 <http://www.kyodoseihan.co.jp>

本社 〒700-0941 岡山県岡山市北区青江一丁目24-19
TEL(086)225-2711 FAX(086)232-3808
東京営業所 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目6番地
山城第三ビル2階22号室
TEL(03)3291-7141 FAX(03)3291-7151
邑久工場 〒701-4254 岡山県瀬戸内市邑久町豆田955
TEL(0869)24-1391 FAX(0869)24-1392



この印刷物は、環境を守るために適切に管理された森林から作る原料を使用した「FSC®認証紙」に印刷しています。



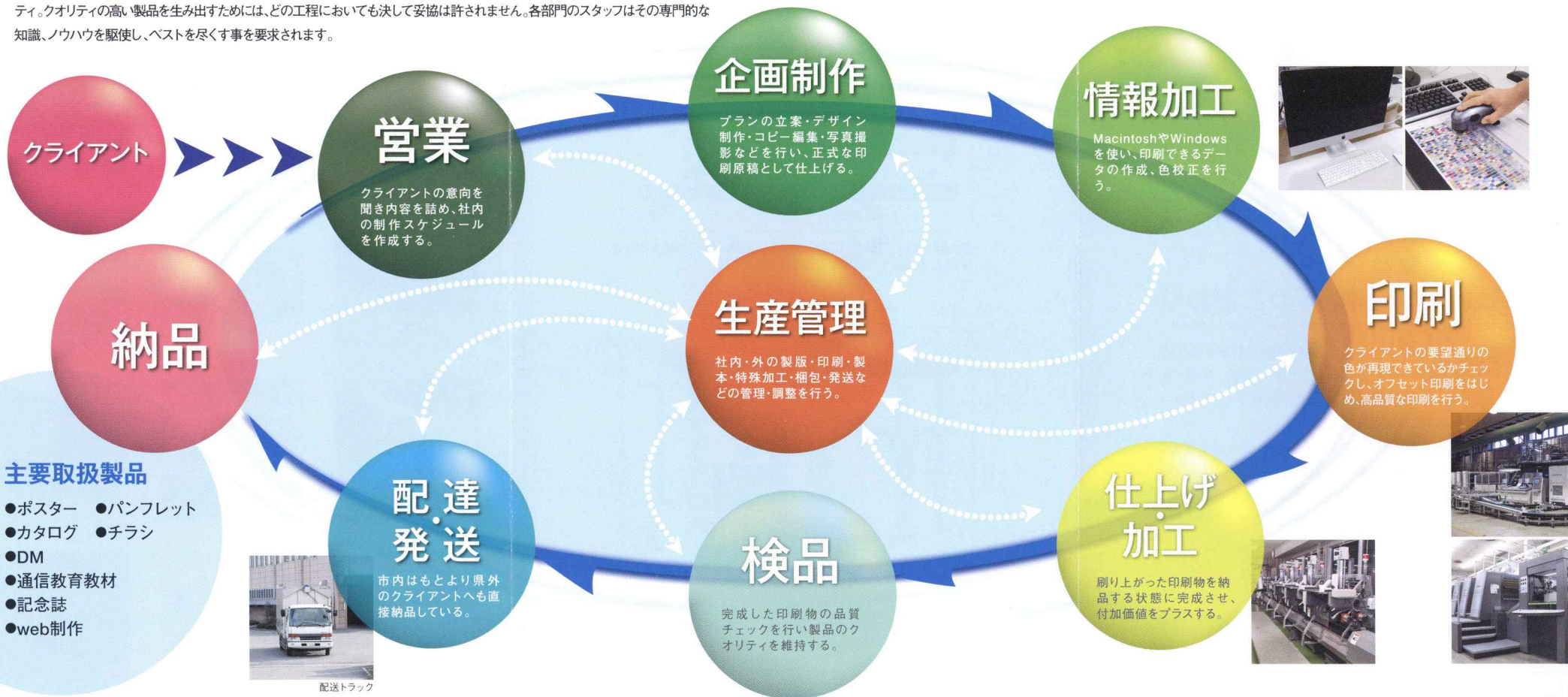
協同精版印刷株式会社

<http://www.kyodoseihan.co.jp>



印刷はネットワークを駆使したワークフローが大切。

印刷物が生まれるまでには数多くの工程があります。一つの印刷物を作り上げる上でも各部門により、その仕事内容は実にバラエティ。クオリティの高い製品を生み出すためには、どの工程においても決して妥協は許されません。各部門のスタッフはその専門的な知識、ノウハウを駆使し、ベストを尽くす事を要求されます。



部門業務内容

営業部門	企画制作部門	情報加工部門	印刷・加工部門	生産管理部門	総務・経理部門
<p>全てがオーダーメイドとなる印刷。営業スタッフはクライアントからの要望にベストの解答を出すために、企画段階から納品にいたるまで全ての過程に精通した印刷のエキスパートである必要があります。クライアントと社内スタッフを結ぶ接点として、最も重要なセクションであるといえます。</p>	<p>クライアントと共に印刷物のプランを立て、必要な原稿類作成、デザインを行うのが企画制作部門。デザインやコピーライティング、写真撮影などを行い、それらをもとに都度クライアントと打ち合せを行います。正式な印刷原稿として仕上げていく上で、各々専門的な技術・ノウハウを生かして仕事に取り組んでいます。</p>	<p>情報加工部門では、印刷に必要なデータを作るプロセスを担います。組版などオペレーションを行う制作部門、写真・文字原稿の処理を行う情報加工部門、データ品質を保证するための検査部門、それぞれに作業指示を送る管理部門で業務を遂行しています。</p>	<p>情報加工までの全てのプロセスを総括する最終工程が印刷・加工部門。印刷用の版を出力し、様々な印刷機の中から最も業務に適した機械で印刷、色のチェックまで行います。さらに、製本などの加工の手配、仕上がりのチェック、そして納品のための梱包・発送など、製品に関する管理業務まで責任を持って行っています。</p>	<p>受注している全ての仕事の納品までのスケジュールをもとに作業プランを決定し、社内・外の製版・印刷・仕上げ・特殊加工・製本・発送などの管理・調整を行う工程管理部門と、紙やインクなどの材料の仕入れをする購買部門で業務を遂行しています。どちらも、突然入ってくる仕事に対しても柔軟に対応を行います。</p>	<p>主に人事面から事業・社員をサポート。社員の給与計算や予算・決算に関する業務などを担当します。どちらも直接印刷にたずさわる訳ではありませんが、社員・物品・経費などの会社の経営資源を管理する部門として絶対に欠かせない大切な存在です。</p>

会社概要

社名	協同精版印刷株式会社		
本社	〒700-0941 岡山県岡山市北区青江一丁目 24-19 TEL.086-225-2711		
東京営業所	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目6番地 山城第三ビル2階22号室 TEL.03-3291-7141		
邑久工場	〒701-4254 岡山県瀬戸内市邑久町豆田 955 TEL.0869-24-1391		
創業	昭和 5 年 5 月		
会社設立	昭和 29 年 2 月		
事業内容	製版・印刷・その他関連事業		
資本金	3,200 万円		
総敷地面積	32,079 m ²		
建物面積	本社	第一ビル(第一工場) 4,993 m ²	
		第二ビル(第四工場) 2,460 m ²	
		第二工場 1,168 m ²	倉庫 1,073 m ²
		第三工場 1,262 m ²	駐車場 3,112 m ²
	邑久工場	(土地) 22,740 m ²	(建物) 12,198 m ²
役員	取締役会長	大塚 富雄	
	代表取締役社長	大塚 泰文	
	取締役	山本 正	
	取締役	大谷 健	
	監査役	熊澤 弘道	

事業のあゆみ

昭和 5 年 5 月	岡山県川上郡川上町において、大塚印刷所を開業
昭和 22 年 1 月	岡山市大供 2 丁目 3 番 6 号に工場を移転、 商号を協同印刷と改称
昭和 29 年 2 月	資本金 100 万円にて株式会社設立、 協同精版印刷株式会社として発足
昭和 32 年 7 月	資本金 300 万円に増資
昭和 41 年 6 月	資本金 600 万円に増資
昭和 41 年 10 月	資本金 1,200 万円に増資
昭和 41 年 11 月	岡山市青江一丁目 24-19 に本社工場を新築移転
昭和 43 年 7 月	資本金 1,600 万円に増資
昭和 53 年 12 月	第二工場を増築
昭和 56 年 10 月	第三工場を増築
昭和 60 年 1 月	旧本社社屋を撤去、本社第一ビルを新築
昭和 61 年 12 月	第二ビルを増築
平成 5 年 12 月	資本金 3,200 万円に増資
平成 6 年 10 月	邑久工場を新築
平成 10 年 5 月	第三工場を改装
平成 19 年 8 月	東京営業所を開設

求める人材

常により新しいもの、より高度なものを追求し続けるという当社の社風は、社員一人ひとりの意識レベルが高いからこそ生まれてきます。そうしたエネルギーをさらに高めていくための新風として、新しい人材が必要なのです。

特に『バイタリティにあふれている』、『関心の幅が広く活動的である』、『チャレンジ精神旺盛である』、『協調性豊かである』、『行動力がある』人など、個性豊かな人材をお待ちしています。ぜひあなたの手で新しい風を吹き込んでください。

先輩からのメッセージ

営業部 営業課
中 西 祥太

2016年入社
岡山大学卒

今あなたの周りには、どんな印刷物があるでしょうか？
現代人の生活に深く根付き、欠かせないものとなっている印刷物は、「表現したいもの」をダイレクトに表現することができる、無限の可能性を秘めています。われわれが行っているのは、お客様の「表現したいこと」を実現するためのお手伝いです。
入社してから月日は、あっという間に過ぎ去っていきますが、お客様のお困りごとを解決するための一助となることができているか、日々考えながら努力しています。

制作部 制作課
清 水 智義

2016年入社
岡山県立大学 大学院修了

皆さんが、仕事でお金を貰うためには、お金と交換可能な価値を相手に提示する必要があります。デザイナーの仕事は、世の中でより万人に受け入れやすく心地の良い解釈を提示し、本質的な価値以上の価値、すなわち付加価値を創出することです。より相手にとって望ましい解釈を考えることのできる人が、デザイナーという仕事に向いているのではないのでしょうか。印刷物に対してより良い付加価値を提示できる人の入社をお待ちしております。

営業部 営業課
橋 本 岬

2014年入社
広島市立大学卒

就職活動中のみなさんに、印刷業界はどのように映っていますか。
印刷物は皆さんの生活の中に溢れているのに、印刷業界と聞いてもイメージが湧かない方も多はずです。
しかし、実際はとても創造性の高い業界です。その分、身につけた知識の量や、経験値がそのままお客様満足に比例します。難しいけれどその分やりがい大きいのではないのでしょうか。
「自分のもつ力、自分のもつ知識を誰かのために使いたい」という方、貴方のちからで誰かの想いを「伝える」お手伝いをしませんか？